

## 薬剤部の1日



### 朝礼（業務スタート）



#### 後輩薬剤師

入院患者さんの薬の  
監査。処方箋の内容  
を確認しながら調剤  
します。

「この方、検査値大丈  
夫だったかな？」



がん化学療法の抗がん  
剤ワークシートを作成し  
ています。  
投与量はあっているか  
な？  
投与スケジュールは大  
丈夫かな？

疑問に感じた  
ところは先輩  
に相談して、  
安全に确实  
に。



#### 先輩薬剤師

入院患者さんが持参さ  
れた薬を鑑別します。  
重複の有無や、量が多  
すぎないかもチェック！  
残数から服用状況も確  
認します。



電子カルテからも  
情報を収集して…



現在、服用していない薬があ  
ることが判明したので、病棟  
の看護師と情報を共有。  
「痛みが改善しているため  
鎮痛剤は服用していないよう  
です。」  
電子カルテにも記載します。



抗がん剤は、曝露しないよう、無菌的に調製しています。

実際に患者さんと面談し、管理方法や服用状況、用法、副作用などを確認。説明や、相談への応答なども行います。



入院患者さんの注射薬を調剤します。  
1処方ずつセットし、患者さんごとにまとめます。



11時からはNST(Nutrition Support Team: 栄養サポートチーム)回診に参加します。  
患者さんの栄養状態の悪化予防や改善のために何が  
できるかなど、多職種で話し合い、対応していきます。



## 昼休憩

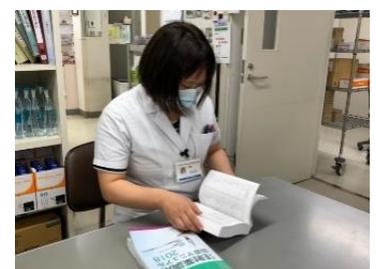


患者さんごとに調剤された注射薬を監査します。



排尿ケアチームの回診に参加します。  
患者さんの排尿状況を確認し、改善するために  
多職種で話し合い、対応していきます。

配合変化の疑いがあったので、書籍で調べて  
...





新人薬剤師を連れて病棟に向かいます。

抗がん剤を投与した患者さんに副作用が出ていないか確認します。「今のところ副作用はないな。」



患者さんからの情報、行った評価などを電子カルテに記載します。「治療は順調に進んでいます」



看護師に投与ルートを確認します。「配合変化が起こりません。含有量が下がるのでルートの変更が必要です」

医師からバンコマイシンの投与設計を依頼されました。シミュレーション結果を基に投与量を提案します。



注射調剤などが終わったら、再び病棟業務です。

退院時には、服用間違いのないよう薬を整理し、説明とともにお渡しします。



退勤